

# 大塚ホールディングス株式会社 2012年度 第3四半期 決算

## 質疑応答要旨

日：2013年2月13日

**Q1:** 研究開発費の増加の要因についてご教示ください。年間1,700億円の見込みだと4Qの研究開発費は536億円になるが使いきれのでしょうか？

**A1:** 4Qは主に3つの要因により、研究開発費が大きく進捗する見込み。一つ目は、円安。二つ目は、中枢関連(主にOPC-34712)開発費の期ズレ部分が解消される。三つ目は来期予定の試験の前倒し。以上の要因により、年間研究開発費は1,700億円近くになると見込んでいるが、若干未達の可能性もある。

**Q2:** 研究開発費の外貨建て比率をご教示ください。

**A2:** 約40%~50%。

**Q3:** 4Qで増益に転じる要因として、ルンドベックからのマイルストーン収入とBMSへの販促費支払い減少以外に主要な増益要因はありますか？

**A3:** 特にない。一番大きなものはIMデポの承認に伴うルンドベックからのマイルストーン支払いである。

**Q4:** 医療関連事業のその他経費が3Qで90億円近く増えている。4Qでのサムスカの販売体制強化とIMデポの販売開始に向けた準備等による経費の増加について具体的な数値をご教示ください。

**A4:** 具体的にはお答えできないが、4Qも3Qと同程度使用する見込み。

**Q5:** 今期から来期にかけて医療関連事業のその他経費が増加する要因をご教示ください。

**A5:** Reps数は前倒しで雇用しているので対前年で増加。来年度以降についてはその他エリアも含めて検討中。今年後半の経費が来年固定費としてそのまま続く。

**Q6:** 米国市場の非定型抗精神病薬の処方箋が10～12月は4ポイント増えているが、その理由をご教示ください。

**A6:** 毎年1月にブランド薬が値上げするので10～12月に駆け込み需要として処方が増える傾向にある。

**Q7:** 先般FDAからサムスカの肝機能障害に対する警告が出ていたが、何か影響は出ているか？

**A7:** 肝障害の警告は、FDAがオフラベルユースの懸念から指示、処方医にはドクターレターで対応。

**Q8:** トルパプタンのADPKD承認の見通しについてご教示ください。

**A8:** 昨年11月の論文発表のデータを基にしてFDAと交渉中。2013年前半で申請する計画。

**Q9:** ニュープロパッチの薬価が決まり中医協の資料ではピークで国内パーキンソン病患者3.8万人に投与すると記載がある。国内パーキンソン病総患者数14万人から計算して約30%のシェアを獲得するとの見積もりから売上予測を立てているのでしょうか？

**A9:** レストレスレッグス症候群は他社が積極的に販促をしていない中で、市場を掘り起こすには時間がかかる。パーキンソン病治療薬の中では剤型が異なる貼付製剤。ピーク売上については現段階ではお答えできないが、患者のシェアについても30%までは到達しないと見込んでいる。

**Q10:** 医療関連事業のその他経費は3Q増加分の約100億円弱を4Qでも同程度使用すると伺いましたが、その固定費と変動費の割合をご教示ください。

**A10:** 人件費を固定費と考えると約3割。増加分の約100億円弱全てが来期以降の各四半期にかかるものではない。

**Q11:** ルンドベックから受け取ったマイルストンの金額についてご教示ください。

**A11:** 3Qまでの累計は約100億円強。

**Q12:** ルンドベックはRepsを増加したという発表があったが、この発表から欧州のポテンシャルの拡大や米国の販売コストの低下が期待できると考えてよろしいでしょうか？

**A12:** 米国・欧州でIMデポの申請しており、両極でRepsの増員を前倒している事が経費増加の大きな要因。来期以降もその傾向は変わらないが大きく増加することはない。

**Q13:** アブラキサンの胃癌と非小細胞肺癌の売上予測は？

**A13:** 現段階ではピーク売上はお答えできないが、部会は通過しています。

**Q14:** ルンドベックからの承認時マイルストーン\$275Milの内訳についてご教示ください。

**A14:** \$100Milは米国IMデポ承認時、\$75Milは欧州IMデポ承認時、残りの\$100MilはIMデポ双極性障害承認時、トータルで\$275Mil。

**Q15:** ルンドベックから3Qまでに入った約100億円マイルストンの内訳は？

**A15:** 契約一時金の期間按分の当期該当分とOPC-34712のマイルストンの一部の期間按分の当期該当部分。

**Q16:** 米国のエビリファイの販売見込みにおいて、BMSが持っていた在庫の影響についてご教示

**A16:** 在庫に関して今回は流通在庫を詳細にモニターしているので昨年より在庫の積み増しが無いことを確認している。年明けの販売にも影響が無いと考えている。

**Q17:** NCの利益が減少しているが、来期以降、具体的に事業戦略の見直しを考えていますか？

**A17:** 今期の上半期においてポカリスエットは他社新製品の影響もあり、売上が落ちていたが、直近は好調に推移している。またNCの海外は好調に推移しており、4Qである程度利益が挽回できる見込み。

**Q18:** 来期以降もNCの利益はフラットという感じでしょうか？

**A18:** 来期以降のことはまだ詳細にはお答えできませんが、今期は7%以上の利益率を目指したい。